

工学研究科 経営工学専攻

人材養成等に関する目的
経営工学専攻は、経営工学に携わる研究者及び高度な総合管理技術者として求められる学識と研究方法を習得し、数理的解析能力及び情報技術活用能力を基礎として、学術的あるいは実務的課題を自ら発見かつ解決できる人材の育成を目的とする。

カリキュラム・ポリシー
修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「修士研究」により、工学研究科や経営工学専攻が定める人材育成等の目的を実現するための教育課程を編成する。
(1)「専門科目」では、経営工学分野におけるより高度な専門知識を身に付けるため、特論、実験、演習等の授業科目を重点的・効果的に配置する。
(2)「一般教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を養う授業科目を配置する。
(3)「修士研究」では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、研究者・技術者・設計者等として国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する。

Table with columns for '分野' (Field) and '科目群で身に付ける能力' (Ability gained by subject group). Rows include 'システム数理工学', '人間・情報工学', '医薬・統計', '基礎科目', and '一般教養科目'. Each row lists specific courses and special topics under '修士課程1年次' and '修士課程2年次'.